

経常利益

107 億円

経常利益は、資金利益の増加などから、前中間期に比べ9億円増加し、107億円となりました。

中間純利益

77 億円

中間純利益は、前中間期に比べ7億円増加し、77億円となりました。

総預金等
(平均残高)

5兆9,107 億円

※総預金+譲渡性預金

総貸出金
(平均残高)

4兆2,910 億円

自己資本比率
(国内基準)

9.66 %

経営の健全性を示す自己資本比率は国内基準を大きく上回っています。

不良債権比率

1.44 %

健全な資産を維持しています。

格付け

A (安定的)

格付投資情報センター (R&I)

経営の健全性や信用力が評価されています。

株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

毎年3月末時点で1,000株以上を保有いただいている株主さまに、三重県ゆかりの名産品を掲載したギフトカタログを、毎年6月下旬に配当金関係書類とともにお送りしています。



●対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま

●株主優待の内容

三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、保有株式数に応じてお好みの一品をお選びいただけます。

保有株式数	お選びいただける名産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

株主総会資料の電子提供制度に関するお知らせ

会社法改正により、2023年6月開催の株主総会から、株主総会資料は原則ウェブサイトにて電子提供されます。

株式の状況

発行可能株式総数	396,000千株	上場証券取引所	東京・名古屋
発行済株式の総数	254,119千株	証券コード	8368
株主数	18,895名		

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会議決権：毎年3月31日現在の株主さま 期末配当金：3月31日現在の株主さまに対し、株主総会の決議によりお支払いします。 中間配当金：中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。
公告方法	電子公告：当行ホームページ https://www.hyakugo.co.jp/ に掲示します。 ただし、電子公告ができない場合は日本経済新聞および伊勢新聞に掲載します。

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

編集 / 株式会社百五銀行 経営企画部

三重県津市丸之内31番21号
電話 059-223-2326
(本店所在地：三重県津市岩田21番27号)
2022年12月発行
<https://www.hyakugo.co.jp/>

HYAKUGO BANK
REPORT 2022

ミニディスクロージャー誌

2022年9月期 営業の中間ご報告

当行の概要 (2022年9月30日現在)

名称	株式会社百五銀行
創立	1878年(明治11年)11月19日
本店所在地	三重県津市岩田21番27号
代表者	取締役頭取 杉浦 雅和
資本金	200億円
従業員数	2,364名



取締役頭取
杉浦雅和

平素は、百五銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2022年6月より頭取に就任いたしました杉浦でございます。

これからも、さまざまな金融サービスをご提供することで、お客さまに「真に頼りにされる銀行」となることをめざしてまいります。今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当行は本年度より、長期ビジョンを「グリーン&コンサルバンクグループをめざして」と刷新しました。そして新しい長期ビジョンにもとづき、中期経営計画「KAI-KAKU150 2nd STAGE『未来へのとびらⅡ』～グリーン&コンサルバンクグループをめざして～」への取組みをスタートしました。この中期経営計画期間（2022年4月～2025年3月）を「攻めに転じる3年」と位置づけ、「質の高いコンサルティングの提供」に加え、「気候変動リスクへの対応」にも積極的に取り組むことで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

経済環境は厳しさを増しておりますが、地域の皆さまとともに発展していくために、グループの総力を挙げ、全役職員が一元となって努力してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

中期経営計画
2022年4月～2025年3月

KAI-KAKU150 2nd STAGE「未来へのとびらⅡ」

～グリーン&コンサルバンクグループをめざして～

本中期経営計画では、5つの基本方針「カーボンニュートラルへの取組みの強化」「ビジネスモデルの強化」「生産性の向上」「経営基盤の強化」「SDGs/ESGの浸透」への取組みを通じて、お客さまの課題解決への支援を行うとともに、地域のカーボンニュートラル実現に向けた取組みを推進することで、お客さまと地域社会の未来を切り拓きます。

項目	2022年9月期 (実績)	2024年度 目標	
KGI	連結当期(中間)純利益	74億円	150億円以上
	連結純資産ROE	3.79%	3.50%以上 ※長期的に5%をめざす
	コアOHR	63.07%	67%未満
	自己資本比率	9.66%	11%以上

105トピックス

経営課題の解決に向けたコンサルティングの提供

脱炭素支援への取組み

2022年4月、「百五脱炭素支援サービス」の取扱いを開始いたしました。本サービスではお客さまの脱炭素経営への取組状況を確認するとともに、GHG排出量削減目標や削減活動の策定支援から当行による脱炭素経営宣言書の交付や当行ホームページへの掲載等対外PR活動の支援まで、お客さまの脱炭素経営実現に向けた取組みを一貫して支援しています。2022年9月末現在、52社の事業者の方々へ、本サービスをご利用いただきました。



地域社会の持続的発展への貢献

全国初 Park-PFI事業に対するソーシャルローンの取組み

2022年6月、当行はPark-PFI事業*（中勢グリーンパーク官民連携事業）に対する全国初となるソーシャルローン**の契約を株式会社宝輪様と締結いたしました。

「市民が誇りに思う、全世代の交流拠点となる公園」をコンセプトとした本事業では、津市の総合公園「中勢グリーンパーク」において民設民営のカフェレストラン等と公共施設の管理棟等が整備されます。

※Park-PFI事業とは、公園整備を行う民間事業者を公募により選定するものです。

※ソーシャルローンとは、資金使途を社会課題解決プロジェクトに限定した融資のことです。



カーボンニュートラルへの取組み

津市と脱炭素経営の推進に関する協定を締結

2022年9月、当行は、津市と「カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素経営の推進に関するパートナーシップ協定」を締結しました。本協定にもとづき津市と連携し、市内事業者の脱炭素経営に関する普及啓発や推進、サポートなどに取り組むことで、脱炭素社会の実現をめざします。



トイレで考えるSDGs
紙のクローズドリサイクルへの取組み

2022年9月から当行本支店の約100拠点でクローズドリサイクルにより製品化したトイレトーパーを使用する取組みを始めました。今年度は、約36tの当行の保存期限が到来した書類を、約21万ロールのトイレトーパーに再生しました。これにより年間約54tのCO₂削減効果を見込んでいます。

また、特例子会社である百五管理サービスが文書保存の管理からトイレトーパーの保管・管理、発送までを担うことで、障がい者雇用を通じた地域貢献と、持続可能な循環型社会の実現に貢献いたします。

